

きららとちぎ

第2回男女共生大学 パパ！っとおやこ料理教室を実施しました 2025. 8. 24(日)



CONTENTS

パパ！っとおやこ料理教室.....	P2
アンコンシャス・バイアス講座	
令和の寅子にインタビュー.....	P3
理工系チャレンジin帝京大学.....	P4
DVに悩んでいるあなたへ	



栃木市ホームページ
こちら➡



おやこ料理教室参加者にインタビュー

どちらかという母親の役割と考えられがちな料理作りに、ぜひお父さんにも取り組んでいただきたいという目的で企画した親子料理教室。講師の栗原碧さん(sottodeli店主)のレシピを見ながら8組のお父さんと子どもたちがなかよく料理作りに取り組みました。

お子さん(小1～小4)へのインタビュー

Q1お父さんと一緒に料理してどうでしたか

「楽しかった」「おいしかった」

Q2家でも料理をしようと思いますか

「今もやってる」「やってみたくなった」



【取材しての感想】

・後片付けもどんどん進め、料理に慣れているお父さんたちだと感じた
・親子で協力して作業する場面が多く見られた

お父さんへのインタビュー

Q1応募したのはどなたですか

・「自分で応募」(ほとんどの人)
・「妻が応募」(まったく料理したことがないので、勉強してくるといいんじゃない？と言われたとのこと)

Q2家でも料理しますか

「これからは家族で料理をしていきたい」
「家でも子どもと作るが、こういう場も面白い」
「全くしたことがない」
「土日は妻が仕事なのでやる」
「和食と中華を作る」
「料理はすべて自分でやる」



第1回男女共生大学アンコンシャス・バイアスって何だろう？

～「当たり前」や「普通」に潜む思い込み 2025.6.19(木)

自分自身では気付いていない、モノの見方や捉え方の歪みや偏りが、無意識の偏見「アンコンシャス・バイアス」です。

講師の工藤敬子先生



講座は会場いっぱいの参加者で埋められました。

今、私たちの生活の中で、なぜアンコンシャス・バイアスなのか、それは社会がかつてないほど多様になっていること、違いを否定せず受け取る力が共に生きる鍵になっているからだと言われている。気づかぬうちに相手や自分自身を縛っていることもあるそうです。

最後に、「アンコンシャス・バイアスは誰にでもある思い込みで完全になくすことは出来ないけれども、少しずつ意識しながらよりよいコミュニケーションを育んでいきましょう。」と話されていました。

主なアンコンシャス・バイアスの種類

正常性バイアス

周りを変化していたり、危機的な状況が迫っていても「私は大丈夫」と自分の都合のいいように思いこんでしまう

集団同調性バイアス

周りと同じように行動してしまう
他の人もやっているのなら、私がやっても大丈夫だと思ってしまう

ハロー効果

ある人物に好意を抱くとその人物に対するすべてのものに対して好意的に考える

インポスター症候群

自分の成功を客観的に示す証拠があっても、成功を過小評価、たまたま起こったことと評価する
たまたま運がよっただけと新しいことへの挑戦を妨げる



参加者の感想

・普段の生活に当たり前にある考え方が実はアンコンシャス・バイアスなのかもしれないと思った。何がそうで何がそうでないのか、意識することが大切だと思った。
・対話を通して一人一人をリスペクトすることが大事であると気付かされた。

令和の
寅子

にインタビュー



今回は、前頁の「おやこ料理教室」で講師をお願いしたsottodeli店主の栗原碧(くりはらあおい)さんにご登場いただきました。栗原さんは現在栃木市のメイン通りにある「くりとくら」にて、お住まいのある寺尾地区の食材を積極的に使ったお弁当や総菜の販売されています。

ご自分のこれまでの活動の基礎となっているものや男女共同参画についての話をお聞きました。

Q.1 育った環境について教えてください。

A

3人兄弟の真ん中(姉、わたし、弟)で父、母の5人家族です。高校まで栃木に在住し、大学から東京で一人暮らしをしました。大学の時、料理教室に通っていました。

母が食にこだわりを持っていて、素材や添加物などに気を使っていました。また、母の手作り料理が好きで小さい頃から母の手伝いをしていました。

Q.2 小中学校時代に人権や男女共同参画について、意識したことがありましたか。

A

人権週間で作文を書いたときで、叔父さんが病気になり命の尊さを痛感しました。家族としては少しでも長生きして欲しい、本人は楽になりたいという中で、人権について考えさせられました。

Q.3 自分の生き方に影響を与えた人がいましたか。それはどんな方ですか。

A

自分は、影響を受けやすいタイプだと思います。家族の影響が大きかったです。25歳でsottodeliを立ち上げましたが、sottodeliを立ち上げるにあたっては、金銭面では父、食材関係は母、お店の内装関係は姉、お店の運営に関しては弟と家族の絶大なる協力、アドバイスがありました。



Q.4 sottodeliの店主として、うれしかったことや苦労したこと、今後の希望などがあったら教えてください。

A

お客様に、恵まれました。お客様との出会い、口コミにより今があるのだと思います。本当に感謝いたします。

今後は、地元でお店をやりたいです。また、料理教室の講師をしながら、食に関して広めていきたいです。

Q.5 現在、男女共同参画社会はどのくらい進んでいると思いますか。

A

今のところ、違和感を感じていません。会社に入った時は、研修なども男女一緒でした。また、会社でのお茶入れなども男女関係なく交代で行っていました。

Q.6 「おやこ料理教室」の講師をとしての感想はいかがでしたか。(特にお父さんが料理することに関して)



A

小学生がピュアであるのにびっくりしました。日頃、家庭で料理をしているなと感じました。料理に関する関心度が高いと思いました。

【インタビューを終えて】

男女共同参画は、育った環境や教育が大いに関係してくるなと感じました。家庭・学校・地域での男女共同参画の推進を引き続き行っていきたいと改めて思いました。

令和の
「寅子」
大募集

男女共同参画推進に関わる活動をされている方を取材し、このコーナーで紹介させていただきます。
自薦他薦は問いません。ご応募お待ちしております。





理工系チャレンジIN帝京大学

2025. 8. 1(金)



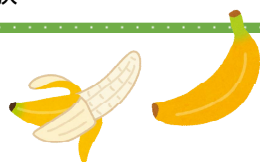
「理工チャレンジ(リコチャレ)」とは女子中高生・女子学生の皆さんが、理工系分野に興味・関心を持ち、将来の自分をしっかりイメージして進路選択(チャレンジ)することを応援するため、国が中心となって行っている取組です。

栃木市でも、女子小中学生と保護者29名で、昨年に続いて宇都宮市にある帝京大学理工学部で様々な活動に参加してきました。

帝京大学では理工学部バイオサイエンス学科の平澤先生と高山先生のご指導のもと、次のような活動を行いました。

【体験活動】

身近にある食塩水やアルコール、洗剤液を使って、バナナのDNAを抽出する実験



【先輩との交流】

リケジョの先輩である(株)ホンダテクノフォートの女性エンジニアチーム「みちcafé」の方々のアドバイスのもと、自分の得意を生かす職業を見つける活動

【施設見学】

飛行機格納庫、自動車工場、植物温室の見学(飛行機格納庫では、飛行機やヘリコプターへの試乗も)

参加者の感想

〔児童・生徒〕

- ・DNAの実験を初めてやったのでとても新鮮で面白かった。
- ・先輩との交流ではたくさんのアイデアが出た。初めて知る社会問題や理系の仕事分かった。

〔保護者〕

- ・1日貴重な体験ができた。将来の夢や学びを深めた有意義な時間を過ごすことができた。

DVに悩んでいるあなたへ 相談してください

DV(ドメスティック・バイオレンス)とは、配偶者や交際相手など親密な関係にある男性から女性へ(女性から男性へ)の暴力をいいます。

栃木市配偶者暴力相談支援センター

TEL 0282-21-2218

栃木警察署

TEL 0282-25-0110

とちぎ男女共同参画センター相談ルーム

TEL 028-665-8720

認定NPO法人 ウイメンズハウスとちぎ

TEL 028-621-9993



電話・メール 24時間受付
チャット相談 12:00~22:00

電話 24時間受付 0120-279-889

困難を抱える女性LINE@とちぎ

・火曜日と土曜日の15時~22時まで

2次元コードを読み取るか、以下のURLを入力して登録してください。 <https://lin.ee/inKys5f>



チャット 受付12:00~22:00

チャットはこちら

※スマートフォンからは右のQRコードよりご利用ください。



編集後記

参加された方たちに実際にインタビューするという新鮮な体験を通して、紙面に皆さんの率直な声をたくさん掲載することができました。

飯嶋・寺内・中島・森田